

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドューラボてだこ			
○保護者評価実施期間	令和7年5月16日		～	令和7年5月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和7年5月22日		～	令和7年5月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の得意を最大限に伸ばしていく環境	好きなことが得意になって自信をつけることで、様々な活動への参加や集団での役割の必要性を感じて実践していく力が身につく、将来の自身の進路決定への一助となるよう取り組んでいる	専門的な知識を持つ外部講師を呼ぶことで児童の興味関心を向上させていく
2	児童自身が特性を理解し、苦手なところや得意なところを主張して社会で生きていけるような促しを行なっている	月2～3回の専門医からのカンファレンスを受けて、児童の特性にあった進路や自己理解を促すための機会作りを行い、職員も共通理解を持っている	発達凸凹はの良い側面を育てていく
3	活動プログラムが固定しないように工夫している	児童の興味を職員間で共有し、毎月数個のアートや音楽も含めた活動プログラムを考案しており、多様な才能を刺激している	常に新しいことへのアンテナを貼って情報を収集していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所がバリアフリーでない コンクリート打ちっぱなし	入り口や室内、トイレ前に段差があり 障害となることも想定できる。	緊急的にはプレイマットを増やすなどとして、安全に遊べる環境を構築 車椅子等の利用時にはスロープの設置なども検討していく
2	保護者会など保護者同士が交流する機会が少ない	保護者からの要望はあるが実施できていない	今年は保護者との座談会やワークショップ等の機会を作 て、保護者と支援者との理解を深めていく
3	地域との交流が少ない	児童の希望を尊重している	地域情報を知って、各イベント参加を図っていく